

令和5年12月21日  
(2023年)

保護者のみなさまへ

吹田市立千里新田小学校  
校長 平山 裕子

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、6年生を対象として「令和5年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は小学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語・算数に限られております。また、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。そのことを踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった6年生には、よりきめ細かな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導方法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

### 1 教科に関する調査の分析

#### ●国語《概要》

**全国値をやや上回る結果でした。**

#### ●国語《各領域における成果と課題》

##### 言葉の特徴や使い方に関する事項

- ・「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと」は、全国値を上回っている。
- ・「送り仮名に注意して、漢字を文の中で正しく使うこと」は、全国値とほぼ同じである。
- ・「文章の種類とその特徴について理解すること」は、全国値とほぼ同じである。

##### 情報の扱い方に関する事項

- ・「原因と結果など情報と情報との関係について理解する」は全国値をやや下回っている。
- ・「情報と情報との関係付けのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと」は、全国値を大きく上回っている。

##### 話すこと・聞くこと

- ・「必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えること」は、全国値を上回っている。
- ・「目的や意図に応じ、話の内容を捉え話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめること」については、全国値を下回り、課題がみられる。

### 書くこと

- ・「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」は全国値を下回っている。記述式の問題となると、無回答率が高くなる傾向がみられた。

### 読むこと

- ・「目的を意識して中心となる語や文を見つけて要約すること」は、全国値とほぼ同じである。
- ・「目的に応じて、文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つけること」は、全国値とほぼ同じである。

## ●国語科における成果と今後の指導改善のポイントについて

国語全体では、全国値をやや上回る概ね良好な結果となりました。しかし、自分の考えを持つこと、自分の考えを表現することに苦手意識を持つ傾向が見うけられました。特に「書くこと」については、記述式問題であったこともあり無回答率も高くなっています。少しでも苦手意識をなくすため、叙述や話型を活用して表現の方法を学ぶこと、文章の意図を読み取る練習を重ねるなど、児童の「考える」機会を増やし、表現できるような取り組みを行っていきます。

## ●算数《概要》

**全国値を上回る結果でした。**

## ●算数《各領域における成果と課題》

### 数と計算

- ・知識・技能の問題では、全国値をやや上回っている。
- ・思考・判断・技能の問題では、全国値を上回っているが、除法の筆算において、図を基に商の意味を考えることに課題が見られた。

### 図形

- ・知識・技能の問題では、全国値をやや上回っているが、図形の構成要素（辺や角）に着目して考えることに課題が見られた。

### 変化と関係

- ・知識・技能の問題では、全国値を下回っている。伴って変わる二つの数量の関係について、表から変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めることに課題が見られた。
- ・思考・判断・表現の問題では、全国値を上回っている。

### データの活用

- ・知識・技能の問題では、全国値をやや上回っている。
- ・思考・判断・表現の問題では、全国値をやや上回っているが、記述式の問題の無解答率が高かった。

## ●算数科における成果と今後の指導改善のポイントについて

算数全体では、全国値を上回る良好な結果となりました。5年生までの知識・技能は、身につけてきていることがわかりました。一方で、数量関係を考察して見出した事実を説明することや、論理的に考え、答えを導くまでの過程を説明する記述の問題に課題が見られました。授業の中で、基礎基本の定着はもちろん、思考力・判断力・表現力の向上に努めた学習展開を行っていきます。

## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

### 【国語に関するアンケートから】

- ・「立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめる」や「物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目する」など、今まで学習してきたことについては肯定的な解答は全国値をやや上回っている。
- ・「国語の勉強は大切」「社会で役立つ」の肯定的な解答は全国値を上回っている。
- ・「授業の内容がよくわかる」の肯定的な解答は、全国値をやや下回っている。
- ・「国語の授業は好き」「書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」の肯定的な解答は全国値を下回っている。

### 【算数に関するアンケートから】

- ・「算数の勉強は大切だと思う」「算数の授業はよくわかる」の肯定的な解答は全国値を上回っている。
- ・「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つ」も肯定的な解答は全国値をやや上回っている。
- ・「算数の勉強は好き」の肯定的意見は全国値を下回っている。

### 【学習環境・生活環境について】

- ・「読書が好き」の肯定的な解答は全国値を大きく上回っている。
- ・「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」の肯定的な解答は全国値を下回っている。
- ・「地域行事への参加」「地域や社会をよくするために何かしたい」の肯定的な解答は、全国値を下回っている。

### 【自己肯定感】

- ・「自分には、よいところがあると思う」の肯定的な解答は全国値を上回っている。
- ・「将来の夢や目標と持っている」「人の役に立つ人間になりたい」の肯定的な解答は全国値とほぼ同じであった。

### 【学校生活・学習について】

- 「資料や文章、話の組み立てなど工夫して発表する」「課題解決に向けて、自分で考え、自分で取り組んでいる」「今までの授業を生かしながら自分の考えをまとめる」「授業で学んだことをほかの学習で生かす」などの普段の授業についての肯定的な解答は全国値を上回っている。
- 「総合的な学習の時間では、自分の課題に向けて情報を集め整理し、調べたことを発表する」の肯定的な解答は全国値を下回っている。
- 「先生は、あなたの良いところを認めてくれている」の肯定的な解答は全国値を上回っている。
- 「学校に行くのは楽しい」「友達関係に満足している」「いじめはどんなことがあってもいけない」などの学校生活に関する質問の肯定的な解答は全国値とほぼ同じである。
- 「英語の勉強は大切だ」の肯定的な解答は全国値とほぼ同じであったが、「英語の勉強は好き」の肯定的な解答は全国値を下回っている。
- ICT やタブレットに関する質問に関しては、全国値を大きく上回っている。
- 「学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている」「学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組む」などの学級での話し合い活動についての肯定的な解答は、全国値をやや上回っている。

### 3 今後の取り組み

教科に関する結果を踏まえ、国語、算数ともに基礎基本を身に着け、全国と比べてよくできていることがわかりました。学校として日々の授業で取り組んできたことが、児童の実感や実力としてつながってきたことがうかがえます。

しかし、「国語の勉強が好き」「算数の勉強が好き」等の授業に関する項目は全国値を下回っていることから、楽しい授業になっているのかを問い返されました。本年度は「一人一人が根拠に基づいて考える授業づくり」に取り組んでいるところですが、学ぶことの楽しさをより感じられる授業づくりをさらに目指してまいります。

また、生活環境や学習習慣等の調査を踏まえ、「自分には良いところがあると思う」と自己肯定感が高いことが伺えました。自分を大切に思うことは子どもたちの自信ややる気につながる素敵なことです。学校生活でも、子どもたちは様々なことにチャレンジしている事が伺えました。その活動の根底には安心できる学校であることが大切だと考えます。学級での集団作り、学年での取り組み、学校行事や様々な活動等を通して、子どもたちに寄り添いながら「心豊かな千新っ子」を育む教育活動を進めてまいります。

今後も児童の自立と幅広い学習の機会を作るため、ご協力をお願いいたします。